

和歌山県公共工事入札監視委員会第84回定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和5年3月10日（金） 13:00～14:30 和歌山県日赤会館 大会議室	
出席委員氏名	沖 本 易 子（委員長） 永 瀬 節 治（副委員長） 辻 原 治 柳 川 正 剛 岩 橋 靖 子	
審議対象期間	令和4年10月1日 ～ 令和4年12月31日	
抽出案件	総件数 2 件	議事
一般競争入札	件	○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の認定の経緯等審議 ○意見交換会
条件付き 一般競争入札	2 件	
通常指名競争入札	－ 件	
随意契約	－ 件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○日方川河川整備工事</p> <p>1. A委員 1 回目の入札において、入札参加資格要件を満たさずに失格とあるが、工事实績が同種工事と認められなかったことについて、もう少し具体的に説明していただきたい。</p> <p>2. A委員 入札が 2 回行われた経緯を教えてください。</p> <p>3. A委員 業者自身が参加資格要件を満たすとしているのに、実際には要件を満たしていないという事例は、珍しいものなのか。</p> <p>4. B委員 1 回目の入札で、調査基準価格未満により失格となった 4 者のうち 2 者は、2 回目の入札にも参加しているが、2 回目の入札において 2 者は、入札価格を上げてきている。1 回目において自身が調査基準価格未満で失格になった事を業者は分かっているのか。</p> <p>5. C委員 1 回目と 2 回目で金額が 367 万円変わっているが、これは資材価格が変わったためであるということか。</p>	<p>(発注機関：海草振興局建設部海南工事事務所)</p> <p>1. 同種工事の設定条件として、橋長又は橋幅 14 メートル以上の仮橋又は仮栈橋の設置、又は撤去工事の施工実績を求めている。しかし、当該業者から提出された実績が、本設橋の施工実績であったため、同種工事にはあたらないものと判断した。</p> <p>2. 1 回目の入札において、調査基準価格を下回る 4 者が失格となり、残る 2 者のうち 1 者は要件を満たしておらず、もう 1 者は技術提案を提出しなかったことから、全者失格となったため、2 回目の入札を行うことになった。</p> <p>3. 比較的稀にこのような状況はありうる。</p> <p>4. 入札が一度成立しているため、調査基準価格は公表している。【事務局】</p> <p>5. 約 2 ヶ月の間に鋼材単価がかなり上がっており、ほぼその差額によるものである。</p>

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○文里港海岸港湾海岸整備工事</p> <p>1. C委員 機械の耐用年数について、更新の時期は決まっているのか。あるいは、機械がもつ間は運用するということなのか。</p> <p>2. A委員 ライフサイクルコストについて、計画当初予定していた金額と、実際に運用して必要となる金額とは、長期間が経過すればかなり誤差が生じると思うが、その誤差をチェックする、あるいは、誤差が生じた理由をチェックするシステムはあるか。</p> <p>3. A委員 ポンプ第1工区と第2工区が分かれているという事だが、今回より以前に第1工区のポンプ場の工事、オーバーホールがあったという事か。</p> <p>4. A委員 前の第1工区の時も、今回と同様の業者による一者応札であったのか。</p> <p>5. C委員 ポンプ4機の更新に約10億円を要しているが、新規の設備に変えた場合どのくらい費用を要するかという試算はあるか。</p>	<p>(発注機関：西牟婁振興局建設部)</p> <p>1. 長寿命化修繕計画により、点検結果に基づいて各施設の寿命を判断の上、メンテナンスを行うこととしている。長寿命化計画の制度化以降、点検の結果に基づき、メンテナンスの時期等について検討する事としている。</p> <p>2. ライフサイクルコストを導入してから20年、30年経過した施設はないため、今後、検証していく。</p> <p>3. 両工区の各1号ポンプを1年早く更新し、その後、両工区の2号ポンプの交換作業に入る。それにより、各工区で少なくとも1つのポンプが稼働するようにしている。</p> <p>4. ポンプ4機の工事を入札しているが、入札の結果、全て同じ業者の一者応札である。</p> <p>5. スクリューポンプは既に製造されておらず、それを更新するには高額な費用がかかる。その上、原動機、減速機も新品としなければならず、更に建屋の構造も影響を受けることになる。新しいポンプを導入するための費用についてのデータはないが、非常に高額になるものと考えている。</p>

意見・質問	回 答
<p>6. C委員 スクリーポンプを現在は製造していないということは、現在は排水の手法が異なっているということか。</p>	<p>6. そのとおり。しかし、水を揚げる機能という点では、スクリーポンプは未だ優れた方法である。</p>
<p>【意見交換会】 下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1. 公共工事動向について2. 建設業法施行令の一部改正について	